

望月 一成 (静岡/111期)

ほとんどのレースで最終ホーム、バックを取っていて、直近4カ月の連がらみは86%が逃げてのもの。2月別府では3連勝で待望のS級初Vを飾っている。先行力には一段と磨きがかかり、Gレースでも大暴れか。



PICK UP RACE



末木 浩二 (山梨/109期)

相変わらず成績には波があるものの、随所でヒットを飛ばしている。2月西武園、3月豊橋の準決はいずれも先行して2着に粘った。仕掛けがツボにはまった時の一発には注意しておきたい。



平尾 一晃 (長崎/111期)

徐々に体調が良くなり、持ち味である自力攻撃の破壊力が増してきた。1月小倉から2月佐世保まで、3場所続けて予選で2着と好走している。同格戦は人気の有無にかかわらず連の対象から外せない。



ガールズケイリン

石井寛が若手を一蹴

主力メンバー

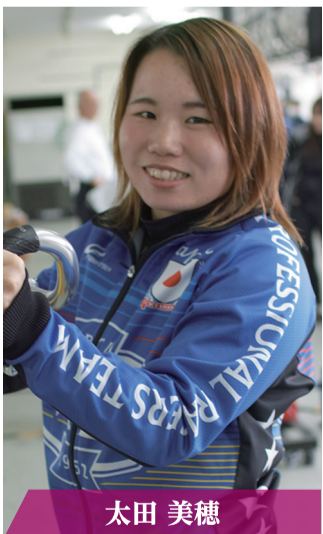
※2021年3月7日現在

選手名	登録地	期別	競走得点	直近12場所成績	総合評価
比嘉真梨代	沖縄	114期	52.47	②①④④	80 [16]
太田美穂	三重	112期	55.40	⑩①①②①	88 [10]
中野咲	愛知	110期	52.30	①④③①	79 [16]
高木佑真	神奈川	116期	52.38	②①③②	79 [12]
石井寛子	東京	104期	56.12	①④⑨①④	90 [12]
梶田舞	栃木	104期	53.80	①①④⑦	86 [13]
岩崎ゆみこ	茨城	116期	53.04	⑦②③②	82 [13]

ガールズケイリンは、石井寛子が110期代のニューパワーの進撃を止められるかだろう。今年の石井はここまで5場所走って3V。さすがに安定しているが、毎年1年の最初から飛ばしていく石井にしてはやや物足りない部分がある。1月別府でのガールズケイリンコレクションの出走権は逃してしまった。とはいえず、デビューの年からグランプリ出場を続け、ガールズ最初の通算40勝を達成した第一人者としての威厳はいささかも揺らいでいない。まだまだ若手には負けないという気持ちは、高木佑真らを相手に優勝した1月岐阜、太田美穂らを相手に優勝した同月松阪、永塚祐らを相手に優勝した2月西武園を見てもわかる通り。ここも他の追従を許さないスタート力で初手から好位をキープし、後は高い集中力でレースの流れに乗っていった、強烈ダッシュでゴール



石井 寛子



太田 美穂

り出すまくり、差して決着を付ける。本来なら石井の一番のライバルとなるべき梶田舞は欠場が多く順調さを欠いている。無敵を誇る地元戦だけに、間に合わせて意地と底力を見せ付ける可能性は大いにあるが、現時点では強調材料はない。ならば、若手に期待する手だろう。1月取手でのトリアル決勝で高木真、石井貴(千葉)を完封する逃走劇で2着に粘ってコレクション出走権を手にした太田が一番の強敵となる。太田はその後1月四日市、2月大宮で石井貴を破って優勝と本格化ムード。今の勢いならV奪取も十分だろう。11月松戸、2月佐世保MNでそれぞれ逃げ切った初優勝を果たした高木、岩崎ゆみこの機動力も侮れない。ともにまだレース運びに甘さは残るものの、自分の競走に持ち込むと強い。旋風を巻き起こせるか。さらに、位置取り確かな比嘉真梨代、高橋智香、中野咲も連候補から外せない。3人とも勝ち星は多くないが、3連対率の高さは特筆ものだ。板根茜弥や中村由香里にも注意。

ガールズケイリン 出場予定選手

級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点	級班	氏名	登録地	期別	競走得点
L1	中村由香里	東京	102期	51.00	L1	中野咲	愛知	110期	52.30	L1	比嘉真梨代	沖縄	114期	52.47	L1	高尾貴美歌	長崎	116期	49.95
	梶田舞	栃木	104期	53.80		高橋智香	愛知	112期	52.06		加藤舞	秋田	116期	48.24		保立沙織	神奈川	118期	48.08
	石井寛子	東京	104期	56.12		太田美穂	三重	112期	55.40		岩崎ゆみこ	茨城	116期	53.04					
	板根茜弥	東京	110期	51.76		寺井えりか	北海道	114期	46.56		高木佑真	神奈川	116期	52.38					

※2021年3月7日現在